

交政第 719-号
令和3年 2月10日

(協議会会員及びオブザーバー) 様

J R川越線荒川橋りょうの複線化仕様
での架換えに関する協議会 議長
埼玉県企画財政部長 堀光 敦史

第2回 J R川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換え
に関する協議会の結果について (通知)

本県の交通政策の推進につきましては、日頃より格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年2月1日付け交政第713号で通知いたしました、第2回 J R川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する協議会の書面開催につきましては、別紙の結果となりましたので報告いたします。

担 当 交通政策課 鉄道担当 齋藤・堀井
電 話 048-830-2227
F A X 048-830-4742
メー ル a2220-03@pref.saitama.lg.jp

第2回JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する協議会の結果について

1 調査票【資料2】について・・・・・・・・・・・・・・・・全会員了承 <意見等>

【さいたま市】

- ・ 「1 調査の必要性」について、案文では、橋りょうを複線化するのは将来（＝荒川第二・第三調節池整備事業後）であることが既定と読めてしまうので、「将来」という文言を削除したうえで、以下のとおり修正していただきたい。…①

※下線部分が修正箇所

『～（略）～状況において、複線化仕様で架換えるための技術的な～（略）～』

- ・ 「3 調査内容」について、需要増につながる沿線のまちづくりについても、現状や計画を整理すべきと考える。また、複線化の効果検証の際、複線化に向けて、将来推計も検討に加えていただきたい。このことから以下のとおり（1）を修正していただきたい。

…②

※下線部分が修正箇所

『（1）川越線の輸送状況及び沿線地域の現状分析と複線化の効果等』

- ・ また、（3）については、橋りょう形式ごとのメリット・デメリットや諸課題の整理についての検討も含むという認識をさせていただきたい。

【川越市】

- ・ 「3調査内容（3）複線化の方策（ルート等）」の等に、本市が意見した「タイミング・手法」が含まれるのか、具体的に明示願います。…③

【国土交通省】

- ・ 以下の事項について協力可能である旨を申し上げます。
東日本旅客鉄道株式会社へ委託している設計成果等に関する情報提供

2 調査内容の詳細については、事務局が中心となって自治体間で調整すること について・・・・・・・・・・・・・・・・全会員了承 <意見等>

【さいたま市】

- ・ 調査業務発注のための仕様書作成の際に、改めてご照会いただきたい。

3 その他（意見等）

【さいたま市】

- ・ 令和3年1月28日にさいたま市長がJR東日本大宮支社長に3万5千筆超の署名を添えて、「JR川越線荒川橋りょうの架け換えに合わせた複線化の検討」と「JR川越線日進駅以西の複線化の早期実現」について要望を行いました。

【川越市】

- ・ 将来の複線化を見据えた橋りょうの架換えに繋がるための必要な調査となることを強く希望します。

【オブザーバー・JR東日本】

- ・ 調査に必要な鉄道設備の情報提供、技術的アドバイス等により今後も協力して参ります。引き続き、調査の内容及び進捗等の情報共有をお願いいたします。

4 上記1～3の意見等を踏まえた結果

(1) 調査案【資料2】については修正を行い別添のとおりとする（修正部分には下線）。

【修正内容】

- ①「将来」という文言に荒川第二・三調節池整備事業における橋りょうの複線化を除外する意図はなく、誤解を招く恐れがあるため削除する。
今回の調査は、将来の川越線の複線化に向けて、複線化仕様で橋りょうを架換えるための可能性を追求するものであり、文言整理を行った。
- ②需要増につながる沿線のまちづくりの状況分析も必要と考えられるため文言を追加する。
- ③複線化の方策には、タイミングや手法の検討も含まれると考えられるが、「ルート等」を含め方策に包含されるため、（ ）を削除する。
- ④調査内容について、対象を明確にするため「橋りょう」という文言を追加した。

(2) 調査内容の詳細については、JR、国土交通省に可能な範囲で協力をいただきながら事務局が中心となって自治体間で調整することとする。

J R川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する 調査について

1 調査の必要性

荒川第二・三調節池事業に伴う荒川橋りょうの架換えが予定されている状況において、複線化の実現に向けて橋りょう架換えの技術的な課題や方策の可能性等について調査する必要があるため。

2 目的

複線化仕様の橋りょう架換えに関する諸課題の抽出とそれを踏まえた調査・検討を行う。

3 調査内容

(1) 川越線の輸送状況及び沿線地域の現状分析と複線化の効果等

(2) 橋りょう架換えに関する課題の整理

技術上の課題、工程上の課題 等

(3) 橋りょうの複線化の方策、複線化仕様の橋りょうの形状等の分析・検討

4 調査主体等

国とJ R東日本の協力を得ながら、さいたま市、川越市からの負担金を受け、県が発注する方向で今後調整

※下線は資料2（事務局案）を修正した部分